

# 自治体職員協力交流事業 (LGOTP) の活用について

山口県地域振興部観光交流局国際課

## 山口県と海外との人的交流

山口県は、1982年に中国山東省と友好協定を締結し、今年で30周年を迎え、また、韓国慶尚南道キョンサンナムドとは1987年に姉妹提携し、今年25周年を迎えました。

このほか、スペインナバラ州とも姉妹提携しており、これらの3か国及びアメリカから国際交流員を1人ずつ受け入れています。

さらに、自治体職員協力交流事業 (LGOTP) を活用して協力交流研修員を受け入れるとともに、海外の県人会等を通じて海外技術研修員や在外県人子弟留学生を受け入れ、海外との人的ネットワークの形成・強化に努めています。

## LGOTPによる交流員受入実績

山口県では、LGOTP事業が開始された1996年から積極的にこの制度を活用しており、本年までに、22人（毎年1～2人）の研修員を受け入れています。

本県は、本州の西端に位置し、地理的にも歴史的にも東アジア、特に、中国や韓国との交流が盛んであることから、この事業により受け入れる研修員は専ら中国、韓国からとしています。

研修員の選考を行うに当たって、当該事業では、友好・姉妹提携等の関係を通じて、自治体が独自に研修員の選考を行う「独自選考」と、クレアが自治体からの要望に基づいて研修員の斡旋あつせんを行う「斡旋選考」の2種類があります。

制度開始当初は、斡旋選考のみの実施であったため、本県でも友好・姉妹提携先に限らず受入れを行っていましたが、2004年以降は独自選考により、すべて本県の友好提携先から受け入れており、特に、研修についての要望が強い山東省からの受入れとしています。

## 専門研修分野

山口県では、これまで農林水産、環境、医療、文化、観光など、幅広い分野で研修員を受け入れてきました。

本県では、研修員を受け入れ、本県が持つさまざまなノウハウや技術等を習得させるとともに、研修員が本県の国際化施策等に協力することによって、本県の国際化を推進することをこの事業の目的としています。近年は、派遣側と受入側の双方にとって、より効果的なものとなるよう、専門研修分野について綿密に事前協議を行い、両県省の人的ネットワークの形成・強化や、協力・交流関係の一層の深化に資するものとなるよう努めています。

## 事業活用の成果

例えば、現在、山口県は、「年間観光客3千万人構想」の実現に向け、東アジアからの観光客誘致を促進していますが、このため2007年から2010年の4年間は専門研修を「観光」分野とし、山東省旅遊局等の職員を受け入れました。本県の観光交流課において研修を行う中で、研修員は本県職員とともに中国人向けの山口県観光ホームページの作成に携わったり、各種観光イベントに参加して率直な意見を述べるなどし、帰国後は、自身が体感した本県の魅力を山東省の人々にPRしてくれています。

さらに、2009年に本県の山口宇部空港と山東省の済南国際空港が空港間協定を締結し、2011年には両県省の観光部局間で「観光交流の促進に係る合意書」を交わし、双方で観光展等を開催しましたが、これらには、研修員として本県で半年以上を過ごした旅遊局職員の積極的な協力が大きな役割を果たしました。



山口宇部空港での山東省観光展



済南国際空港での山口県観光展

また、昨年は、山東博物館からの研修員を萩美術館・浦上記念館で受け入れました。両県省の美術館・博物館は、文物交流として相互に文物を貸し出し、ほぼ毎年、展覧会を開催していますが、友好協定30周年となる今年は記念行事として、山東博物館において「萩焼－山口県の陶芸」展を開催しました。開催に当たっては、昨年の研修員の郭映雪さんに、本県での事前準備や連絡調整、そして、山東博物館での開催本番に際して大変御尽力いただき、成功裏に展覧会を開催することができました。

中国とは、さまざまな交流事業を実施するに当たり、特に人と人とのネットワーク形成が重要と考えられます。本県においては、LGOTP事業をネットワーク形成の一つのツールとして積極的に活用しています。



萩美術館・浦上記念館で研修中の郭映雪さん



山東博物館での記念行事開幕式

## 滞在中の対応

研修員は、本国を離れて半年以上を日本で過ごすことになります。最も心配されることは言葉の問題ですが、本県では山東省との間で、ある程度

日本語ができる職員を派遣するよう調整していることと、JIAMでの1か月の全体研修により日本語能力を高めた上で来県するため、生活面や専門研修で大きな問題が生じたことはありません。

また、研修員が孤独感を感じないように、ネット環境が整った住居を提供するとともに、同じ山東省からの国際交流員や留学生と一緒に過ごせる観光イベント等に参加する機会を設けるようしており、専門研修の内容はもちろん、生活面においても「山口県に来てよかった!」と思ってもらえるよう心掛けています。

## 帰国後の交流

山口県と山東省とは幅広い交流を行っていますので、研修員は帰国後も両県省の交流に関わることが多く、事業活用の成果としても記載しているように、研修受入機関等と継続的に連絡を取り合っています。

また、研修経験者の中には、帰国後も山口県を懐かしく思い、お世話になった人を訪問したり、観光地を巡るために、家族とともに再度来県する者もあり、担当者として非常にうれしく感じているところです。

## 今後の交流に向けて

本年4月、友好30周年を記念して、知事を団長とする山口県代表団が山東省を訪問しました。

知事と省長との会談では、これまでの交流実績を高く評価し、今後とも関係を強化していくことで一致し、また、国際交流担当部局間で、人的交流の推進に積極的に取り組むことで合意していますので、引き続きこのLGOTP事業を活用し、山東省との絆を強めていきたいと考えています。

### 平成25年度(2013年度)自治体職員協力交流事業(LGOTP)要望調査(11月中旬まで)を実施中!!

自治体の目標達成や課題解決のために、海外自治体職員を受け入れてみませんか?

※詳細はこちら <http://www.clair.or.jp/j/cooperation/lgotp/>

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

(財)自治体国際化協会 経済交流課 担当:岡田

TEL:03-5213-1726 E-mail:lgotp@clair.or.jp



日本語研修の様子